

以下、いただいた手紙の和訳です。

2020年7月16日

栂山 美生様

国連軍縮担当上級代表として、あなたが模擬国連世界大会 (NMUN) において、軍縮及び地球市民の理想像を追求されたことを称したいと思います。

コロナウイルス感染拡大のために NMUN 2020 日本大会が延期されたにもかかわらず、あなたが、核軍縮、核不拡散、集団的安全保障の柱である NPT (核不拡散条約) を強化する案について、若い人々の間で議論を主導され続けてこられたと聞き、嬉しく思います。

平和維持のために若い人々がなし得る重要かつ積極的貢献は、2019年12月の国連総会において、「若者、軍縮、不拡散」に関する決議 74/64 の全会一致の採択を通して再確認され、アントニオ・グテーレス国連事務総長の軍縮への取り組み方針においても支持されています。国連軍縮局は、“#Youth4Disarmament” イニシアティブを通して若者の参画を促進し、若者が軍縮の進展に向けて意味ある貢献をすることができる余地を作ることを目指しています。

会議の準備段階において発揮されたあなたのたゆまぬ努力と指導力は、称賛に値するものです。また、大会運営を担う学生ボランティア全員を賞賛し、このフォーラムを通して若者たちに活力を与えてくださった神戸市外国語大学と全米模擬国連協会の教職員に対して深い感謝の意を表したいと思います。

あなたのような若者が変化を成し遂げる力を持つのです。模擬国連を通してあなたが培った技能は、卒業後のあなたの目標を追求するために大いに役立つものとなることを確信しています。

敬具

中満泉
事務次長
軍縮担当上級代表

※永尾崇晃さんにも同様の手紙をいただきました。